

令和3年7月7日付【日本下水道新聞】  
働き方、品質確保を意識  
第40回定期総会＜新常務に田中吉之氏＞

協働  
水コン  
働き方、品質確保を意識  
第40回定期総会  
新常務に田中吉之氏

全国上下水道コンサルタント協会（村上雅亮会長）は6月10日に第40回定時社員総会を開き、昨年度の事業・決算や今年度の事業計画・予算について報告を受けた後、役員補選などを決議した。第二期中期行動計画の最終年に当たる今年度は、コロナ時代の働き方や公共工事の品質確保、脱炭素化・DXといった国の重要施策への貢献などを意識し、情報の収集・提供に努める。役員改選では長く常務理事を務めた萩原壽氏が理事を退任し、7月1日付で田中吉之氏が後任に就いた。事業体に対する要望・提案活動については、従来の面談方式のほか、資料送付なども併用した。内容は就業環境改善に向けた適正な工期確保やウィークリースタンス実施への協力要請などで、今年度も要望を継続する。また、例年の国土交通省下水道部、日本下水道事業団などに加え、昨年度は厚生労働省水道課とも意見交換を行った。今

年度も継続開催を目指す。

災害関係では、昨年度中に16団体と災害時支援協定を締結し、締結団体は延べ49団体となった。その中には都道府県による一括協定も含まれており、市町村・一部事務組合としては延べ357団体が協定の対象となる。

事業報告によると、昨年度における会員各社の上下水道部門の受注総額は対前年度比で1%強の増加が見込まれている。あいさつした村上会長は「着実に業務領域が拡大し、仕事のボリュームも増加している状況」だと総括。「厳しい情勢の中、コンサルタントの役割はますます大きくなると考えている。引き続き上下水道事業を支え、地域に貢献していきたい」との想いを語った。